

中間答申に対するパブリックコメント実施結果

1 実施期間

平成29年12月2日（土）から12月28日（木）

2 意見提出人数及び件数

30名、66件

3 主な意見

項目	意見	件数
有料化について	2円/lは全国的に高すぎる水準。	13件
	不法投棄やマナーの悪化が懸念される。	9件
	ごみの処理は本来税金で賄われるべきである。 有料化は税金の二重取りである。	5件
	ボランティア清掃ごみの負担方法について検討して欲しい。	4件
	海老名市だけ有料化はおかしい。三市統一して有料化すべき。	3件
戸別収集について	不法投棄の対策はどうするのか。	7件
	コストや収集員の労力がかかる。 コストについて議論すべき。	6件
	集合住宅への恩恵が少なく、不公平感を感じる	5件
その他について	有料化する前にやるべきことがあるのではない か。ごみ分別の推進や啓発活動、情報共有をして もらいたい。	7件
	ごみ袋を記名式にして欲しい。	4件

※件数については重複意見を含む。

自治会への説明会実施状況

1 対象自治会

59自治会

2 実施自治会・参加人数

20自治会 339名（平成30年2月1日現在）

3 主な意見

項 目	意 見
有料化について	導入時期はいつになるか。
	有料化の対象品目は。
	手数料の徴収方法はどのようにするのか。
	手数料収入の用途は。
	地域の清掃ごみやおむつはどうなるのか。
	不法投棄が懸念されるが、どのような対策を考えているのか。
戸別収集について	戸別収集とは具体的にどのようにやるのか。
	排出者が明確になるとはどういうことか。
	全てが対象品目となるのか。
	ごみ集積所は不要になるのか。
	カラス対策はどうするのか。
分別品目の拡大について	剪定枝についても指定袋に出すことになるのか。
その他について	指定袋に排出者の名前を書いて出してもらうのはどうか。
	海老名市のごみだけが減っても意味がないと思うが、座間市、綾瀬市はどのような対策をしているか。
	市民意識の改革が必要ならば、他の対策は考えられないか。

環境審議会中間答申「家庭系ごみの減量化策について」に関する意見募集（パブリックコメント）実施結果

1. パブリックコメントの実施結果

実施期間：平成29年12月2日（土）から平成29年12月28日（木）まで

総意見数：30名、66件

2. 提出された意見

提出された意見は以下のとおりです。一部要約や分割をしていますので、ご了承ください。

No.	関連する項目	意見の概要
1	3(2) 家庭ごみ減量化策の手法としての有料化の必要性	①有料化に当たって市民の納得性を重視すべき 無料から有料への変更に対する市民の抵抗感は極めて大きいと考えられる。有料化に際して市民が受け入れやすい仕組みが必要ではないか ②減量化の持続的な深化させる仕組みを導入すべき 単純な有料化のみでは目標である毎年数%ずつの減量化とはならないのではないかと。他市同様、2年目以降は減量化の効果が減衰する可能性が高いと考えられる。一時的な減量化とならないような仕組みが必要 ③『ごみ屋敷』化や不法投棄を防ぐ仕組みを導入すべき 「有料袋を一切買いたくないからごみを出さない」という家が『ごみ屋敷』化したり、不法投棄が増加するなど、近隣住民に迷惑が及ぶ可能性が考えられる。現代社会においてごみ排出ゼロで生活することはほぼ不可能である。憲法第25条生存権の観点からも、低所得者でなくとも最低限のごみ排出を保障する仕組みが必要ではないか。 ⇒市の削減目標に応じて、市民に無償で袋を提供。超えた分は、市民負担とする。 先行事例などを参考して欲しい。
2	3(2) 家庭ごみ減量化策の手法としての有料化の必要性	人口が増えればごみも増えるのは当たり前でだったら人口増を抑えればいいと思うが、どのような考えで、人口増が続く中、ごみの削減ができるかと考え、目標を定めたのか教えて欲しい。
3	3(2) 家庭ごみ減量化策の手法としての有料化の必要性	有料化には反対。家庭ごみの無料を継続
4	3(2) 家庭ごみ減量化策の手法としての有料化の必要性	なぜ有料化すればごみ減量化になるか理解できない。もっと分別を推進すべきではないか。外国人居住者への啓発も必要ではないか。 医療費が70歳で2割増しとなる政策が打ち出されており、有料化は高齢者に負担となるのではないかと。
5	3(2) 家庭ごみ減量化策の手法としての有料化の必要性	ごみ増加は人口の急激な増加が原因。人口増加を回る市の施策を抑制してはどうか。
6	4(1) 有料化の対象	燃やせないごみは再利用できるものも多く排出されている印象がある。全て有料化せず一部資源化してはどうか。
7	4(2) 減免対象の範囲	自宅付近に散乱したごみを善意で清掃したのや剪定枝・枯葉・雑草等は景観に貢献するので除外が妥当。おむつも同様だと思う。
8	4(3) 手数料の料金体系	ごみを少なくすることが目的ならば各家庭に月何Lまでは無料、それ以上の対策で良いのではないかと。
9	4(4) 手数料徴収方法	スーパーのごみ袋を再利用する方がエネルギーの節約に繋がり環境にやさしい。税金の二重取りも防げる。
10	4(5) 手数料の設定	海老名・綾瀬・座間の3市で本郷清掃施設でごみ焼却。当然3市割有料で、海老名だけの有料化はないと思うが、共通で低価格条件を揃えての有料化でないとおかしいです。
11	4(5) 手数料の設定	現在、近隣のコインパーキング利用者が置いていくごみがわが家まで飛んでくるため、善意で掃除をし、結構な量となります。ごみ袋の料金が低いとそれとできなくなるため、料金を低くしてもらいたい。
12	4(5) 手数料の設定	県下では、1.6円～2.0円/Lだというのが、1円以下の市や町もあり、全市町のデータも紹介し、検討すべき。 0円だったものが、急に2円/Lという高料金徴収は家計に負担が大きすぎる。 また、千葉県などは1円/L以下の負担になっている。手数料は他市に合わせる必要はなく、何故その値段になるのか。座間市や綾瀬市との兼ね合いも含め、もっと深く具体的な説明がなされるべきであり、納得できる料金にすべき。
13	4(5) 手数料の設定	県下の手数料平均が、1.6円～2.0円/Lとあるが、大和市（1.6円）・藤沢市・逗子市・鎌倉市（2.0円）以外はもっと安価（小田原・南足柄は0.2円、寒川町は0.4円）である。 また、焼却施設は綾瀬市・座間市との共同利用のため、手数料はもっと低く設定できると思う。
14	4(5) 手数料の設定	2円/Lは高い。千葉県柏市：0.45円/L 神奈川県下でも、寒川町：15円/35L、大和市：64円/40L、藤沢市・逗子市・鎌倉市：80円/40L、小田原市：11円/45L、南足柄市：13円/45Lとバラバラ 値段の妥当性について説明がない。
15	4(5) 手数料の設定	80円/40Lは高すぎる。藤沢・鎌倉などの高級住宅地が多い地域と同じ値段であることに疑問がある。

16	4(5) 手数料の設定	1枚80円は高すぎる。今まで無料だったものが、突然高級地と同レベルまで引き上げられることに納得する市民は少ないのではないか。消費税のように段階的に行っていく方法でもよいのではないか。
17	4(5) 手数料の設定	40Lが10枚800円は全国的にも高い水準。高すぎる手数料は市民の理解も得られず、不法投棄の増加と思う。 小田原市、寒川町、南足柄市はもっと低い手数料で実施している。
18	4(5) 手数料の設定	ゴミ袋は毎日の衛生必需品。袋の大きさも大中小と用意。価格も最大で40ℓ40枚入300円、小袋40枚入50円。ホームセンター等で販売している常識的な価格を考えてもらいたい。
19	4(5) 手数料の設定	指定ゴミ袋の値段を2円/Lで適切と考える理由を教えて欲しい。
20	4(5) 手数料の設定	有料化は仕方ないが、1L2円は高すぎるのではないかと。「県内他市でもこの価格はあります」と言うかもしれないが、鎌倉、逗子、藤沢と同じにする理由が分からない。 1L2円という価格に至った経緯を市のHP上で説明してほしい。
21	4(5) 手数料の設定	2円/Lの料金を設定するようだが、5Lのごみ袋で週2回、年間104回のごみ出しで1,040円の負担が発生する。減免対策をするようだが、今後消費税アップなど市民の生活が楽になる見通しはない。10円でも安いところで買い物しようと努力している主婦や年金生活者にとってごみの有料化は負担である。
22	4(5) 手数料の設定	他の市町村と比べると40L1枚80円は高すぎる。現在使用しているのは45Lである。袋の強度も気になる。座間市、綾瀬市三市が同時に始めて袋の値段も同額にしてほしい。
23	4(5) 手数料の設定	価格設定にポリシーと透明性を持たせるべき。 料金水準を近隣他市に合わせることの妥当性が明確ではない。グラフの内容はわかるが、海老名市として期待する効果があるような、ポリシーある政策を打ち出すべきではないか。 また、目標からの乖離が生じた場合は、直ちに料金水準を変更するなどの仕組みもあらかじめ用意すべき。 ⇒目標の達成に応じ、料金の上げ下げをするなどの制度を事前に盛り込んでおくべき。
24	4(6) 指定ごみ袋の種類と販売方法	単純計算で1世帯週1回袋を利用、約5.5万世帯で年間275万枚の袋が必要。スーパーなどのレジ袋減量化対策に反し、社会全体でみれば大量の資源の無駄使い。今までレジ袋で代用できたものが数百枚の新たなごみを作ることとなる。
25	4(7) 手数料収入の用途	○手数料収入の用途は透明性を高め、ごみ処理経費への充当を主とすべき 情報誌やネット等による情報公開は賛成 手数料収入の主な用途は市民感情を考えると、ごみ処理経費の一部に充当されると捉えるのが自然ではないか。
26	5(1) 戸別収集	戸別収集サービスは、マンションなどに住む住人には受けられないサービスであり、不公平感を感じる。
27	5(1) 戸別収集	ごみ出し責任の明確化、高齢者のごみ出しの手助けにはなるが、マンションなどの集合住宅への恩恵が少ない。その対策についてなにも書かれていない。
28	5(1) 戸別収集	各1戸ずつ収集。ガソリン代もかかり。収集員の労力もかかり大変。戸別収集になるなら出す人の名前をごみ袋に必ず書いて出すように決めること。不法投棄された場合、知らない人のごみを残され、非常に迷惑で不愉快。道路両側の景観悪、カラス、不衛生になりやすい等々問題点を含んでいて賛成できない。反対です。
29	5(1) 戸別収集	マンションでは不可能。戸建ての地域では、収集車の駐車場所の問題、燃費の悪化、作業員の仕事の負担増加、近隣への不法・迷惑投棄など、様々な問題が発生する。これらの問題の対策費が増加する可能性が大きく、税金の支出がかえって増加してしまう。
30	5(1) 戸別収集	不法投棄や集合住宅に住んでいる方の対策はどうするのか。
31	5(1) 戸別収集	自宅にごみを不法投棄された場合には、どのように対処するのか。
32	5(1) 戸別収集	ごみ収集は従来どおりの集積所で。 これもごみ袋に出す人の名前は必ず書いて出すように決めること。袋に名前を書くことで、意識が出て誤った出し方はしないようになる。本当に間違えて出したのを気づかずそのまま置いても、次回回収日に収集することで他人の迷惑にもならない。単純明解問題はないと思う。
33	5(1) 戸別収集	ごみ集積所、隣地者の軽減 ○カラスがかき回したごみを掃除している。 ○外部の人のゴミ出しを注意している。(時に綾瀬から出しに来る者もいた。) 戸別回収しないゴミに不法ゴミが紛れていた場合の処理費の負担は誰がするのでしょうか。
34	5(1) 戸別収集	マンションの場合どのようなメリットがあるのか教えて欲しい。
35	5(1) 戸別収集	○戸別収集はごみ減量化とは切り離して導入を検討すべき 東柏ヶ谷での実証実験の結果からも、戸別収集とごみ減量化の関係は必ずしも明確ではない。そのため、減量化を主目的として戸別収集を有料化と併せて導入するのは説得力に欠け、唐突感を覚える。 戸別収集は、減量化を主目的とするのではなく、「得られる効果」を目的として導入を検討すべき。
36	5(1) 戸別収集	カラスや猫対策、長時間路上に置くことによる新たな問題(交通の妨げになる、環境衛生)が懸念される。 また、収集する職員は今以上に過大な負担となる。審議会の排出抑制の考え方は非科学的であり、絶対量が変わらなければ減量などできない。

37	5(1) 戸別収集	戸別収集にはコストもかかり、人員や車両の増加も必要であり、外部委託等では市の責任放棄ではないか。 また、至る所の家の前にごみ袋があることで、市の美観も損ねる。また、カラス・猫の対策はどうするか。 国分寺台や東柏ヶ谷で行われた戸別収集の検証はどうなっているか。
38	5(1) 戸別収集	戸別収集は急いでやる必要はないと思う。誰が出したごみか分かるから無責任なことはしなくなるということだと思うが、自治会や当番などの住民組織の自立性の尊重こそ重要だと思う。市の施策の推進のためにも必要で役立っているのではないか。 また、戸別収集のコストについても十分議論する必要がある。
39	5(1) 戸別収集	家の周りは猫など動物がいるので生ごみが荒らされるのが気になる。もしもカラス等被害で散らかった時は綺麗にして持って行ってくれるか心配。家の前だと見た目も悪い。 有料化のことをまだ知っている人が少ない。
40	その他	高い徴収料金により、不法投棄やルール違反投棄や高齢者が家の中にごみを溜め込むごみ屋敷が出てくると思われる。
41	その他	集合住宅はごみの匿名性が高いため、有料化で更なるマナー悪化が懸念され、また、戸別収集は他人がごみを置き去る可能性がある。よって、ごみ袋に排出世帯を記入する方式にしてもらいたい。
42	その他	指定ごみ袋の世帯名を義務化してほしい。 考えられるメリットは下記のとおり。 ・責任感でマナー向上し、現状の問題がある集積所や世帯の改善に繋がる。 ・風やカラス等で排出場所から移動していても戻しやすい。 ・集合住宅でも高齢者見守り機能がある程度発揮する。 ・記入しない人がいても消去方にて排出者が予測可能。 ・悪意の有無も予測しやすく排出者の個別指導に役立つ。 ・戸別収集の際、集合住宅対策としても有効。 ・戸別収集の際、「戸別収集世帯のみプライバシー（ごみ）が晒される」という不公平感が減少する。
43	その他	ごみ袋が高いと不法投棄等のごみ掃除ができなくなり、地域がゴミの山となってしまう。
44	その他	家庭にダイレクトに影響することなので、回覧板や広報えびなを使って、大々的に周知を行うべき。
45	その他	パブリックコメント募集の内容を市民の何割知っているか疑問に感じる。
46	その他	ごみ減量化の推進の方策として、既に他市でも取り組みがされている戸別収集、有料化の方策は、経済性や効率性など多面にわたり妥当性・有効性の高いものと考えられる。
47	その他	戸別収集、有料化により、市と個人との収集の関わりは強く存在するが、地域住民間の交流・連携や地域コミュニティの希薄化が懸念される。 これまで、ごみ収集に関する集積所問題のトラブルも住民相互で協力を図ってきた。最も大切にしている地域コミュニティの場の一つであり、住民意識のつながりの場であった。 将来的に超高齢社会を迎えて、福祉分野をはじめとする住民自治運営による相互の支え合い、互助の精神は欠かすことができない。 制度変更に伴う住民自治の運営への影響を考察・考慮し、更なる住民自治・地域コミュニティの活性化につながる新たな施策のあり方について検討してほしい。
48	その他	一般廃棄物処理基本計画の目標値見直しが必要ではないか。 国の循環型社会形成推進計画では「1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」となっており、人口増減に影響しない一般家庭向けの取組指標となっております。
49	その他	有料化する場合、他自治体の先行事例に関する情報を提供していただきたい。
50	その他	処理施設は海老名市本郷にあって三市が使用しているにも関わらず海老名市だけの有料化は市民の理解が得られない。
51	その他	本来税金で賄う収集を有料化することは相当の負担となるため、不法投棄・マナー違反の増加や市民の反発を招かぬよう広報や自治会を通して広く意見を募り、時間をかけて反映、内容を吟味する必要がある。
52	その他	市民にとって生活に関わる重要な案件は、広報や各自治会に意見を求めたり、説明したり、情報提供は早く公開してください。
53	その他	座間市、綾瀬市の排出量が目標未達時の責任を明確にすべき 減量化の方法は3市それぞれ異なってよいと考えるが、2市の有料化検討状況や役割分担についても調査して記載していただきたい。 海老名市の有料化のみが先行し、遅れた他2市が目標未達成となることが懸念される。
54	その他	有料化にすべきではない。有料自治体の指定ごみ袋をみると、袋そのものが無駄であり、世帯人員が少ない時代になり、現在の方式が良い。指定袋により、ごみを溜めて出すことになり、衛生環境上問題。 安易に市民負担を考えるのではなく、行政の皆さんでよりよい環境行政を検討してほしい。 高齢化が進む地域では、袋を買い溜めしなければならず、負担が重くなる。指定以外の袋を置かれた場合の取り扱いはどうなるのか。モラルの低下が懸念される。
55	その他	有料化は反対。ごみを有料化する前に海老名図書館やピナスポなど維持費がかかる施設の継続検討をしてはどうか。 指定のごみ袋以外で出さない場合はどうするのか。分別されていないごみが回収されずに迷惑している。 また、市民の意見をすべてHPで公開して欲しい。

56	その他	<p>海老名市で有料化についての情報提供はあったのか。ごみの削減目標は必要であり、市民として減量に協力するが、突然有料化となると、現状では賛成しがたい。</p> <p>現状で、他市に比べ1人当たりの排出量が多いのか。市全体の目標値よりも、1日当たり何グラム減らしましょう、などの目標設定が分からない。</p> <p>タイムスケジュール等の記載がなかったが、有料化の前にすべきことがあるのではないかと。様々な減量化策を講じたとあるが、HPの情報一覧には「ごみの減量化」の項目が見当たらない。もっと市民に分別や減量のお願いができるのではないかと。</p>
57	その他	<p>有料化ではなく、海老名市としてやるべきことがあるのではないかと。計画を中止し、再検討してほしい。</p> <p>①ごみ増大の現状と理由 目標値と実績値の乖離の原因は目標値が異常に削減されているからであり、平成27年度の焼却量は平成22年度の目標値を下回っている。増加の主原因は人口の増加であり、市民が無自覚にごみを出しているからではない。生活物資の梱包・包装材など、ごみが増えざるをえない社会状況がある。畑で燃やしたり地中で埋めたりできる市民は限られているが、そのような現状について調査されたのか。</p> <p>②市民へのごみ処理問題広報について 未分別のごみが目に余るのであれば、まずやるべきは市民への広報・啓発活動ではないかと。広報えびなを読む分にはごみ問題が切迫しているという認識は持てなかった。将来を見据えて地道に市民の意識を向上させる必要がある。経済的圧力で市民の行動を変えるのではなく、ごみ処理量の推移、燃やせるごみをどう減らすかのアイデアなど、市民の自発的努力を促していただきたい。</p> <p>③有料化の深刻な不当性 紙類・プラスチック類について分別し、燃やせるごみを極力少なくして出しているつもりだが、有料化されて変わるのはそのような努力にお金を取られることであり、市に裏切られた気持ちになる。</p>
58	その他	<p>ごみの減量化を進めることは賛成であり、海老名市が生ごみの堆肥化など積極的に取り組まれていることは承知しているが、ごみを減量化する目的で有料化にすることは納得いかない。生活に必要なごみの収集は税金で行うべきであり、ごみの有料化は市民サービスの低下、市民サービスの放棄としか思えない。</p> <p>ごみの減量化は必要なことだと思うが、有料化ではなく、市民参加のシンポジウムを地域別に開催するなどの啓蒙活動を粘り強く進めていただきたい。</p>
59	その他	<p>ごみ処理については、自治体の仕事として税金で賄われるべきものだと考えるので、ごみ処分の有料化には反対です。よって、ごみ減量化対策を考えるならば、有料化以外の策について検討すべきと考えます。本資料は、有料化以外の減量化対策が検討されておらず。この資料だけでは、減量化対策として有料化に成功した事例なども併せて参考にすべきではないでしょうか。近隣の公園や住宅からおちてくる枯葉を掃除してごみに出すことがあります。有料化とした場合に、そういった自宅以外からでたごみの処分費を負担しない方法を検討してください。</p>
60	その他	<p>ゴミ減量化について異議はない。ただし有料化することで減量されるとの発想は容認できない。他の自治体有料化しているから、海老名もやるということは短絡的。厳しい生活の中で経済的にも負担が少なく、他よりも住みよいとされているゴミ現状を続けてほしい。ゴミの出し方については、正しい出し方を徹底する必要はある。</p>
61	その他	<p>12月の初期に市民が聞いていないラジオ放送や一部で、有料化についてや意見を募ることを発言されていたが、タイトルもゴミの減量化について意見を求めるとわかりにくい内容になっていた。有料化や戸別収集についても、広報や回覧板などシニア世代とかシニア世代が増えている地域などにも知らせないで、期限を締め切りするなどスローガンを裏切って市民に優しいものではない。また同じ焼却炉を利用している座間市や綾瀬市などでは、有料化の話など出ていない状態なのに、海老名市だけ有料化する話はおかしい。3市統一と合同会議などが必要になると思う。企業誘致などして企業ゴミや付随して海老名市に遊びに来る人などのゴミが増えたことなどをお金が足りなくなったから、最もらしい理由で、きちんと詳細説明もできないのに県内の最高金額の設定もおかしな話である。</p> <p>粗大ごみを今まで燃えないごみで収集していたものを有料化したせいで、目久尻川沿いとか伊勢山自然公園とか、わかりにくい場所に不法投棄が増えている。これは有料化のせいで、これを撤去するのも市役所なのでまた税金が使われる。悪循環である。</p> <p>ふるさと納税も導入が遅く、他できちんと収益をあげたりの努力を怠っているいろいろな物を作ったからお金足りなくてお小遣い頂戴とせびっている子供もみたく。ゴミの有料化をして、コンビニや道路や公園や不法投棄のように市全体や駅周辺などにゴミがあふれたり、戸別収集をすることで、朝出す約束を守っても回収が夕方になったら二オイも酷くなるし、カラスや猫やポイ捨てなどの影響も増え不満も増大するし、家庭ごみをあちこちに捨てるマナー悪い人が増えて、それを掃除しなくてはいけない人件費やゴミの処理費などで、税金が使われるのが今の倍になったら目もあてられないし、トラブルの元である。なので先を見えず目先の小手先で物事を解決しようとするやり方と安易な考えに反対する。</p>
62	その他	<p>有料化導入は反対。ごみ収集有料化は税金の二重取りである。</p> <p>有料化の理由が「市民の意識改革を促す」ためであれば、まず市の広報や自治会回覧、学校教育の中で十分行われてきたのか。</p> <p>また、「持続性のある減量化対策のため」とあるが、それは住民に犠牲を強いるものである。ごみの収集は住民の健康維持、衛生、環境、まちの美化に資する市民生活に欠くことのできない事業であり、「国民・住民の福祉」に予算を振り向けてしかるべきものである。</p> <p>他の自治体で既に導入しているというのは有料化の理由にならない。</p>
63	その他	<p>有料化について反対。</p> <p>①有料になってもごみの量は変わらないと思う。</p> <p>②今、市税で賄っているものを有料化では税金の二重取りになるのではないかと。</p> <p>③有料になるとスーパーの袋等に入れてポイ捨てが多くなり、まちが汚くなるのではないかと。</p>

64	その他	<p>意見・疑問</p> <p>1、「有料化を実施することは、家庭における費用負担の公平性の観点から有効であり」とありますが、何故公平なのかわかりません。ごみは生活の中から毎日必ず出るもので避けることはできません。新たにお金がかかるようになることで、豊かでない家庭、家族の多い家庭ほど家計は圧迫されます。</p> <p>2、以前からごみ有料化が減量化に何故繋がるのかが疑問でしたが、答申を読んで、分別の徹底化により「燃やせるごみ」を減らすことになるという道筋がわかりました。有料化は一方法であることは理解できますが、あまりに姑息な手段ではないでしょうか。その前にごみをつくらないの方策、ごみ分別への一層の啓蒙、市民との情報共有に力を尽くしていただきたく思います。分別の徹底度は市により随分の違いがあることを実感しております。</p> <p>3、有料化に踏み切った他市のごみの減量効果を表したグラフでは、有料化が減量に直結したと一概に言えないように思います。有料化の弊害に関しても他市の情報を知りたいと思いました。</p>
65	その他	<p>集合住宅での収集にはごみの品目ごとに色分けするとの間答申の提言であるが、市民にとっては何種類ものごみ袋を準備しておかなければならず負担が大きい。</p>
66	その他	<p>可燃・不燃は有料、資源ごみは無料とした場合、資源ごみに有料ごみが混入したり、不法投棄が増える懸念はないか。</p>